



令和元年9月24日(火)から26日(木)、11団体69名の参加の下、発声訓練士養成事業研修会が、NPO法人日喉連 東日本ブロック主催で、長野県長野市の「ホテルメルパルク」で開催されました。今回の研修会は長野県信鈴会が担当しました。
ご来賓には、長野県障がい者支援課企画幹兼課長補佐松原克彦様をお迎えし、ご挨拶をいただきました。

ご挨拶をいただきました。



信州大学医学部
耳鼻咽喉科学教室
教授 宇佐美 真一先生

頭頸部がんの最近の話題としては、喉頭摘出の適応患者の減少・高齢化が見られるとのことですが、各団体の会員数の減少・高齢化にも符号しています。一方、頭頸部がん診療については、化学療法・放射線治療の進歩により、ステージⅢまでは咽頭がん、下咽頭がんとも化学放射線治療が一般的になっているとのことです。また、再発・転移を生じた患者でも、新規薬剤

(ニボルマブ)など治療の選択肢が増えているとのことです。

SSK銀鈴増刊



ぎんれいだより

R 元年秋号

第32回日喉連東日本ブロック
発声訓練士養成事業研修会

講演Ⅰ(一日目2時限)
最近のがん医療の進歩

編集：公益社団法人銀鈴会
東京都港区新橋 5-7-13
ビューロー新橋 901
電話：03-3436-1820

1971年6月17日第3種郵便物認可
(毎月6回5の日・0の日発行)
SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより
NO.10 2019年10月15日発行
増刊通巻第5337号 定価50円
発行：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

我々にとって明るい情報としてお聞きしました。講演の最後に、今後はがん遺伝子検査を含めたがんゲノム医療の進歩により、患者ごとに適切ながん治療計画をたてられるようになることが期待されているとのことです。

グループワーク
「入会前の患者さんに対する
オリエンテーションについて」

二日目の1時限では、9グループに分かれ、各団体で実施しているオリエンテーション内容を参考に検討が行われました。

2時限では、各グループ検討結果についてグループ発表がありました。テーマの捉え方として、手術前か手術後かでオリエンテーション内容に若干の違いがあり、各団体の認識に温度差が見られ意見の集約が難しかったのではないかとコメントもありました。

各グループからの発表では色々な意見があり、結論を出すまでには至りませんでした。各団体からの率直な意見を聞くことができ、今後のオリエンテーション実施においての



あり方を多く学べたと思います。

日喉連の定款変更と 物品販売について

日喉連会長 松山 雅則

三日目1時限

定款変更は日喉連の現在の状況に対応するためです。旧定款では、賛助会員制度や物品販売制度は具体的に定められていませんでしたので明示しました。

2019年3月に日喉連管轄機関である東京都の認証を得ることができました。

この改定により物品販売も扱えることになり、日喉連加盟団体の財政基盤の強化の一助になることが期待されます。

講演Ⅱ(三日目2時限) 障がい者個々に適した生活環 境道具利用に対する支援の重 要性について

長野大学社会福祉学部

教授 伊藤英一先生

皆様は一度言葉を失い、その後食道発声、E.L発声などで言葉を発していますが、健常者も含め言葉は相手に7%しか伝えられず、言葉より

も顔の表情、声の質、大きさ、テンポの要素がより多くの情報を伝達しているとのこと。我々の発声訓練教室においても、この要素を改めて認識し、今後の指導に活かすことが重要だと思いました。

一方、会話を通して日常的な意見伝達ができない人たちのためのコミュニケーションニーズを満たす方策手段、支援には、「拡大、代替コミュニケーション(AAC)」が総称として使われていることです。その一つにメッセージ録音型VOC Aであり、あらかじめ録音されたメッセージを読み上げる機能です。もう一つには文字入力型VOC Aで、1文字ずつカナ入力し、その内容を読み上げる機能です。これらの機能については我々の会員でも使用していま



すが、より使いやすい機能開発が望まれるところですが、

研修会修了後、秋元東日本ブロック長の挨拶、研修会参加者への修了証授与および今回の研修会の反省と来年の予定について報告がありまし

た。

引き続き次回開催地 埼玉銀鈴会 三角一夫会長の挨拶、原 東日本副ブロック長の挨拶で閉会となりました。

特別寄稿 「失われた声を取り戻す 新しいデバイス」の開発

東京大学大学院 工学系研究科

電気系工学専攻 竹内 雅樹

私は、東京大学の産学連携プロジェクトで、「失われた声を取り戻す新しいデバイス NUTONE」の製品開発を行っている竹内雅樹です。

NUTONE は、ハンズフリーのE.Lで、首にかけるデバイスのため、片手がふさがることはありません。しかも、過去の音声データがあれば、自分の声帯に近い音で話すことができます。

さらに、従来のE.Lよりも5倍軽くなったことで、装着時に重荷とならないデバイスへ進化しました。銀鈴会の皆様とは、今年の7月25日に初めて会ってからは、指導員皆様の協力をいただきまして、アンケートやインタビュー、製品のフィードバックを行いながら、ここまで製品の改良を続けてまいりました。

そして9月29日、指導員3名の方

と共に、「Today To Texas」という選抜会に参加しました。来年の3月にアメリカのテキサスで行われるSXSW という展示会への出展権をかけて、プレゼンテーションとデモを行いました。デモの際は指導員の方から喉頭摘出者の現状ならびに想いを伝えていただきました。その結果、SXSW への出展権を獲得いたしました。指導員の方と思わず涙を流して抱擁するほどに、私たちの絆は深いものになっていくと感じました。私たちを受け入れてくださった、松山会長はじめ指導員、会員の皆様本当にありがとうございます。今後も製品化へ向けて、皆様のもとにお邪魔することになると思いますが、引き続き宜しくお願い申し上げます。



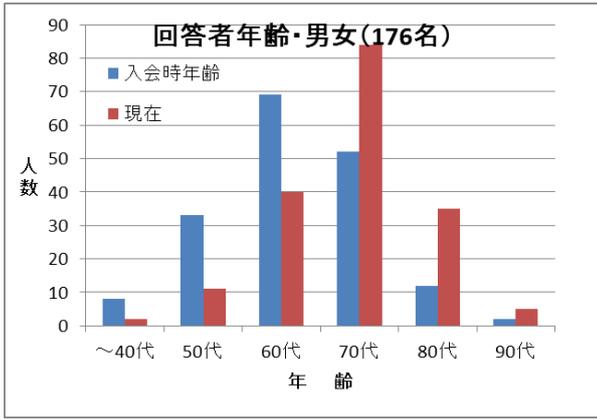
右から2人目が筆者

**発声訓練等に関する
アンケート調査の結果報告**
〜 令和元年5月実施 〜

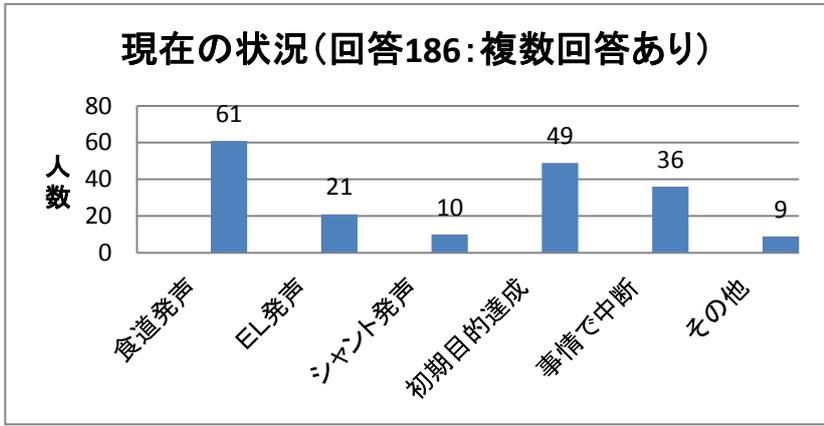
180名の会員の皆様より回答をいただきました。ご協力誠に有難うございました。

アンケートの結果概要については、以下のとおりですが、皆様からの貴重なご意見をもとに、今後の発声訓練をより効果的かつ魅力的に進めて参りたいと思います。

一、入会時及び現在の年齢分布
回答者176名の入会時と現在の年齢ピークは60代から70代にと

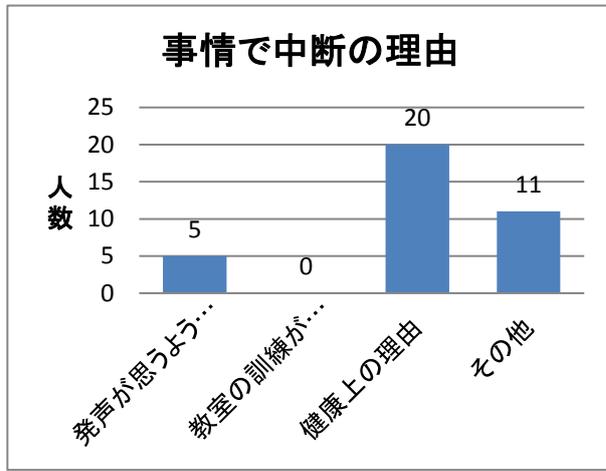


三、事情により訓練を中断している理由について
訓練中断者の中断理由回答は36名の方からありました。「健康上」の理由が最も多く20名(56%)でした。



員の高齢化が進んでいます。
二、現在の状況
食道発声訓練の継続61名(33%)、初期の目的達成49名(26%)、事情で訓練中断36名(19%)と続きます。

四、訓練教室の雰囲気及び訓練士の指導については、「非常に良い」、「良い」合わせて99%の結果でした。
五、会員の方からのご意見・ご要望等については、多数いただきました。アンケート結果の詳細と併せホームページおよび次号の「銀鈴」誌に掲載予定です。



「その他(家族の介護、仕事など)」では11名(30%)、「発声が思うようにならなかった」は5名(14%)でした。「教室の訓練がつまらない」との理由はありませんでした。

公益社団法人銀鈴会 事務局 武内 進
〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901
TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497
E-mail : office@ginreikai.net
ホームページ : <https://www.ginreikai.net/>

お問い合わせは

♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡
身近な方々の
ご理解とご協力をお願いいたします。

~~~~~  
年会費  
・法人賛助会員 1口 5,000円 6口以上  
・個人賛助会員 1口 5,000円 1口以上  
~~~~~

生産者の顔が見えるお茶
静岡・川根茶産地直送

ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 令和元年9月末日現在(五十音順 敬称略)

株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社オカムラ、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、株式会社鈴木保有社、住石ホールディングス株式会社、住友林業株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、太成倉庫株式会社、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社電制、東京ガレージ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレージサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、有限会社フジ総合鑑定事務所、株式会社プロティア・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、株式会社メディカルコーチ、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社、SMB C日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

青木佑一、青山弘、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、浅見精二、足立健之助、荒川敬子、荒松允之、安藤京子、安藤純一、声友クラブG A生、飯島敏禎、五十嵐雅勝、井口英子、池田美代、石河文子、石塚康夫、市田治弥、市吉將浩、井手麻喜子、伊藤仁、犬山正人、井上貴之、井上裕子、入谷文雄、岩崎堅司、岩崎伸、岩間和夫、上田繁、上榎政隆、宇佐美昭夫、江口仁、榎本まさ子、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、大貫貞子、大貫美智子、大橋敏男、大浜保道、岡島正恒、岡田悠紀子、岡戸富美子、小川文啓、奥島茂、奥原修、小澤哲、尾野有代、小櫃洋一、笠貫達也、片山浩晶、片山雅美、金子豊巳、金崎勝男、上榎政隆、茅史郎、川井栄助、川崎光夫、岸健作、城所忠男、喜内敏夫、沓澤昭雄、工藤剛武、久保力男、窪井純子、久保木昭次、久保田親尊、熊川喜代司、栗原弘、小島啓三、小谷昌司、後藤清、小中マス子、小林あや子、権平清、齋藤隆、齋藤博、齋藤幹男、齋藤隆治、酒井弘子、坂上典子、相樂多恵子、脇坂佳二、佐久間博、櫻井卓巳、櫻井正身、佐々木昭夫、佐藤和雄、佐藤賢治、佐藤隆史、佐藤泰雄、佐野雅次、佐野幸孝、澤田祐爾、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、重松康男、宍倉信子、宍倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠美登里、篠田乃武子、芝満雄、島田厚子、島田初夫、島田真由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、七五三和夫、下里岩二、朱宮裕子、正願地孝子、白井芳郎、杉山喬、鈴木綾子、鈴木邦忠、鈴木時子、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、鈴木敏彦、隅谷政紀、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋孝壽、高橋敏夫、高橋もと子、高橋保夫、高原明美、高山幸明、滝沢勇、竹内康子、武田祐爾、田尻直樹、立石善一、谷貝忠秋、寺澤永祥、栃木謙治、永井一男、永井芳子、中岡利子、中台庄次、中西正夫、中村隆行、中村マリ子、中村宗夫、名越一郎、新美典子、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、長谷川サイ、長谷川良克、服部カツヨ、馬場茂、浜野耕平、濱野実、林宏一、半田建二、半野田重俊、東幸子、引間善二、菱谷正樹、檜森聖三、平澤玉吉、平澤玉吉、福山幸伸、藤田清、藤原桂子、二木芳彦、舩越建治、古部貞雄、寶崎和人、星芳文、堀満、堀池泰之、堀江知江子、本田学、前田知子、牧野清、正木壽子、益子満子、増田惣一、増田正毅、松枝清二、松岡宏、松清平、松嶋宏、松田行雄、松田幸雄、松本博、松山光志、松山寿美子、松山雅則、松山雅哉、眞辺致一、右田正隆、水島雅晴、三田村一雄、宮原厚夫、宮本啓三、宮本貢、村田恵子、村松繁雄、村本高史、森本孟子、八木健、八木又一郎、矢島藤人、安田祥子、安野智、谷田部元吉、築昭子、屋中一夫、柳葉君代、柳葉藤枝、山岡弘尚、山岡弘幸、山岸正央、山口明、山口平男、山崎浩子、山田三津恵、松田行雄、山田善宣、山寺勉、山村利司、山本勇、山本一雄、横井俊三、與座英夫、吉田長幸、吉田久乃、吉田美保子、吉野充聡、ワキタアキラ、脇田誠照、和田敦子、和田栄子、和田重章、和田義文、渡邊鐵雄、渡邊正雄、渡邊操、渡邊みゆき、渡辺恵一、王美林、F. K.、F. H.、N. M.、N. T.、O. Y.、S. M.、T. M.、T. K.、Y. S.、Y. N.、Y. Y.